



【高山市小・中学校教育の重点】

挑戦し続けるたくましさの育成
「個と向き合う」

【学校課題】

- なりたい自分になるために、自分で考え判断し、行動できる
- 互いの良さを理解し合い、仲間と関わりながら、よりよいものを目指す
- 家庭や地域と連携し、地域とともに生きようとする心を育てる
- 義務教育学校に向けての連携を進め、一貫した教育活動をめざす

【学校の教育目標】 ふるさとを愛し 夢に向かって たくましく生きる子

【9年間で育てたい資質・能力】 一人で判断して行動できる・人と関わり共に生きる

【校区の重点】 「誰もが安心して自分らしく生活できる学校」「少人数の強みを活かす授業」

【連携3つの柱】

学習指導・道徳教育

生徒指導・特別活動

教育相談・特別支援教育

よく遊び、よく学ぶ

① 児童一人ひとり、全教職員の心身の健康を図る

- * 日常生活から6年生を中心とした縦割り活動の充実
- * 全教職員で、いじめや不適応事案の早期対応、未然防止 → 1番の働き方改革

② 児童一人ひとりが基礎基本を身に付け、自信がもてる教科をつくる

- * 全学年教科担任制を通して、全児童の実態を把握し、個に応じた指導支援体制の構築
- * 全校朝読書の実施
- * 個に応じた縦割り学習グループの活用

学習づくり

★自分の考えをもち、主体的に学びを深める子の育成

- ・まず自分のもつ力だけで挑戦する
- ・「分かりません」といつでもはっきり言える
- ・ICTを活用しながら、自分に適した課題に積極的に取り組む
- ・読書を通して、心を豊かにする(国語力をつける)

★仲間とともに学びを深め合う子の育成

- ・自分の考えと比べながら仲間の考えを聞いたり、仲間の考えと関わらせながら発言したりする
- ・グループ別学習等を通して自分の学びを高める
- ・自分の力に合った問題に挑戦し、仲間とともに理解を深める

生活づくり

★目標に向かって何事も最後まであきらめない子の育成

- ・なりたい自分や達成するための方法を定期的に振り返る
- ・自分の考えや想いを最後まで語りきる
- ・自分の言動を素直に振り返る
- ・失敗を恐れず、自分で判断し行動する
- ★ 日常から、縦割り活動を活かしたピアサポートの展開
- ・お互いの違いを認め、一人ひとりに合った関わりをする
- ・いじめを許さず、人権感覚を常に高める
- ・縦割り掃除、全校給食、全校遊び等を通して、全校児童の絆を深める

★郷土を愛し、生き方を考える郷土教育 <<「朝日校区郷土教育系統表」参照>>

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1年: [郷土の季節を感じよう] | 2年: [郷土の特色を見つけよう] |
| 3年: [郷土の産業を守ろう] | 4年: [郷土の安全を考えよう] |
| 5年: [郷土の未来を考えよう] | 6年: [郷土の受け継ぐ心を学ぼう] |

★地域ぐるみで子どもを育てる<地域連携> → 「双方向のかかわり」「姿で見せる」「安心安全な環境」

- ・学校運営協議会: 学校運営についての承認と提言、相談、協力 学校評価に基づく評価
- ・地域: 環境づくり支援 郷土学習支援 地域での小学生の役割と自己有用感
- ・家庭(保小PTA): 生活習慣・SNS等、自己コントロール力を育てる粘り強い指導と見届け